（別紙様式４）　　東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　デザイン学科　アートクラフトコース

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 6月 1日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
東日本デザイン＆コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林　一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 （電話）027-267-1171
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山　巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 （電話）027-267-7945

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科（アートクラフトコース）	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし

学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1800時間		2250時間			
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内数）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	14人（116人の内数）	0人	7人	10人	17人

学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表:　有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案
長期休み	■学年始め:4月1日～4月5日 ■夏　季:7月26日～8月25日 ■冬　季:12月25日～1月8日 ■学 年 末:3月22日～3月31日	卒業・進級条件	校長が成績評価の基準に従い認定する。
学修支援等	■クラス担任制:　有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応	課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動:　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） 共立印刷(株)、ダイヤゴム(株)、SOMPOケア(株)　他 広告・印刷会社、その他一般企業 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等 ■卒業者数　:　5　人 ■就職希望者数　:　5　人 ■就職者数　:　5　人 ■就職率　:　100.0　% ■卒業者に占める就職者の割合　:　100.0　% ■その他 （令和　6 年度卒業者に関する令和7年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報） ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他（民間検定等） ■自由記述欄

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	30人	15人
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	33人	17人
色彩検定	③	73人	50人
POP広告クリエイター技能審査試験	③	22人	20人

中途退学の現状	■中途退学者　6 名　■中退率　5.0　% 令和6年4月1日時点において、在学者121名（令和6年4月1日入学者を含む） 令和7年3月31日時点において、在学者115名（令和7年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 病気療養、進路変更　等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度　:　有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付　:　無
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価　:　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/

（留意事項）

2. 就職等の状況（※2）

3. 主な学修成果（※3）

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にいている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和 7年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
小林　一英	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　校長	令和 7年4月1日　～ 令和 8年3月31日（1年）	
朝日　泰博	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　教務部長（デザイン学科）	〃	
石川　靖	群馬県印刷工業組合　理事長	〃	①
齋藤　徹	エイチレフ合同会社　代表社員	〃	③
平田　耕一郎	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　学科長（デザイン学科）	〃	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催日時）
年間開催数：2回（毎年5月、11月）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、最先端のIoT技術について企業内で行われている取り組みをネットワークやプログラミングの授業に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成目指す。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

（3）具体的な連携の例

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等
全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。
・令和6年11月27日(1日) ワコムクリエイターカレッジクラブ主催「ポートフォリオ強化大作戦！Folioの活用法とクリエイターとして生きる道」
・令和7年1月16日(1日) 株式会社クリーク･アンド･リバー社主催「デザインの基礎知識を深めるチャレンジ講座Vol.9 デザイン史【基礎編】」
②指導力の修得・向上のための研修等
全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会
・令和7年3月18日（1日） 群馬県教育委員会スクールカウンセラー、前橋市保健センター心理相談員、臨床心理士、公認心理師 清宮理也子様 を招聘し、全教職員を対象に『青年期のカウンセリングの特徴 専門学校における1年間のケースを振り返って』について

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等
全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。
②指導力の修得・向上のための研修等
全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特色等
（2）学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
（3）教育活動	教育目標・育成人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
（4）学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
（5）学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
（6）教育環境	施設設備の整備状況等
（7）学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
（8）財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
（9）法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報の保護に関する対策
（10）社会貢献・地域貢献	
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿
令和 7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小金澤 明日香	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校（ビジネス2校）父母の会会長	令和 7年4月1日 ～ 令和 8年3月31日（1年）	PTA
前田 利雄	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物） ・ 令和 4年7月末
URL:http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
（2）各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
（3）教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動（サークル活動、学生会活動）等の状況
（6）学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
（8）学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

URL:http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩学	色彩に関しての理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用法も習得する ・色彩科学　・色彩心理　・色彩調和（配色） ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	2		○		○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習（社会人としてのマナーを身につける） ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客応対	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミーティング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修（美術展鑑賞など）　・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などをを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説　・用具の使い方 ・構図のとり方　・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			造形基礎演習	平面作品制作を中心にして様々な制作実習を通して、造形的基礎力を養成 ・画材とその用法の学習　・色彩構成（配色と構図）　・絵画的表現方法の研究	1前後	120	4		○		○		○		
合計				9科目	840単位時間（　28単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科アートクラフトコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○		○	ＣＧ実習	・Photoshop、Illustratorの基本操作 ・デザインの基礎技術を学習する ・画像合成やレタッチなどの演習 ・印刷物のレイアウト技術	1前後・2前後	240	8		○		○		○		
○			絵画	・様々な用材を使用して、その特性を生かした表現を学ぶ。 ・基本的な絵画表現の習得し、自己表現の中で活用できるようにする。	1前後	240	8		○		○			○	
○			クラフト	様々な素材の性質や加工法など、モノ作りの基礎を学び、オリジナル作品の制作へと発展させる。	1前後	240	8		○		○		○		
○			造形演習	・平面・立体作品の制作を通して、制作で必要とされる造形基礎能力を養う。 色彩構成/レイアウト/画材研究	2前後	240	8		○		○		○		
○			コンペ対策	絵画・イラスト・デザインに関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・各種コンペの傾向と対策	2前後	240	2		○		○		○		
○			イラストレーション	イラストレーションの意味と役割を学び、さまざまな画材や技術を体験しながら多様なイラストレーション表現を学習する。	2前後	120	4		○		○		○		
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・自己PR、志望動機作成 ・面接指導 ・個人カウンセリング	1後・2後	120	4		○		○		○		
		○	デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・アーツ＆クラフツ運動からバウハウス ・モダニズムからポストモダン	2前	30	1		○		○		○		
合計				8科目	1410単位時間（　47単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式４）　　東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　デザイン学科　コミックイラストコース

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 6月 1日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
東日本デザイン＆コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林　一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 （電話）027-267-1171
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山　巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 （電話）027-267-7945

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科（コミックイラストコース）	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし

学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1800時間		2370時間			
							単位時間

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内数）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	67人（116人の内数）	0人	7人	10人	17人

学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表:　有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案
長期休み	■学年始め:4月1日～4月5日 ■夏　季:7月26日～8月25日 ■冬　季:12月25日～1月8日 ■学 年 末:3月22日～3月31日	卒業・進級条件	校長が成績評価の基準に従い認定する。
学修支援等	■クラス担任制:　有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応	課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動:　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） (株)ワオ・コーポレーション、共立印刷(株)、(株)エイジェック　他 アニメ制作会社、イラスト制作会社、その他一般企業 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等 ■卒業者数　:　31　人 ■就職希望者数　:　26　人 ■就職者数　:　26　人 ■就職率　:　100.0　% ■卒業者に占める就職者の割合 :　83.9　% ■その他 （令和　6 年度卒業者に関する 令和7年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	30人	15人
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	33人	17人
色彩検定	③	73人	50人
POP広告クリエイター技能審査試験	③	22人	20人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄

中途退学の現状	■中途退学者　6 名　■中退率　5.0　% 令和6年4月1日時点において、在学者121名（令和6年4月1日入学者を含む） 令和7年3月31日時点において、在学者115名（令和7年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 病気療養、進路変更　等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度　:　有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付　:　無
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価　:　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/

（留意事項）

２．就職等の状況（※2）

３．主な学修成果（※3）

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にいている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和 7年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
小林　一英	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　校長	令和 7年4月1日　～ 令和 8年3月31日（1年）	
朝日　泰博	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　教務部長（デザイン学科）	〃	
石川　靖	群馬県印刷工業組合　理事長	〃	①
齋藤　徹	エイチレフ合同会社　代表社員	〃	③
平田　耕一郎	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　学科長（デザイン学科）	〃	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催日時）
年間開催数：2回（毎年5月、11月）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、最先端のIoT技術について企業内で行われている取り組みをネットワークやプログラミングの授業に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成目指す。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

（3）具体的な連携の例

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
造形基礎演習	紙とペン、色鉛筆などの画材を用いて美術的な造形活動の基本を学習する。「見て描く」力を養う。立体空間表現（パース）、質感、色彩、画材の使い方などを学ぶ。	都プランニング

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等
全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。
・令和6年11月27日(1日) ワコムクリエイターカレッジクラブ主催「ポートフォリオ強化大作戦！Folioの活用法とクリエイターとして生きる道」
・令和7年1月16日(1日) 株式会社クリーク･アンド･リバー社主催「デザインの基礎知識を深めるチャレンジ講座Vol.9 デザイン史【基礎編】」
②指導力の修得・向上のための研修等
全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会
・令和7年3月18日（1日） 群馬県教育委員会スクールカウンセラー、前橋市保健センター心理相談員、臨床心理士、公認心理師 清宮理也子様 を招聘し、全教職員を対象に『青年期のカウンセリングの特徴 専門学校における1年間のケースを振り返って』について

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等
全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。
②指導力の修得・向上のための研修等
全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特色等
（2）学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
（3）教育活動	教育目標・育成人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
（4）学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
（5）学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
（6）教育環境	施設設備の整備状況等
（7）学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
（8）財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
（9）法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報の保護に関する対策
（10）社会貢献・地域貢献	
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿
令和 7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小金澤 明日香	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校（ビジネス2校）父母の会会長	令和 7年4月1日 ～ 令和 8年3月31日（1年）	PTA
前田 利雄	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物） ・ 令和 4年7月末
URL:http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
（2）各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
（3）教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動（サークル活動、学生会活動）等の状況
（6）学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
（8）学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

URL:http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩学	色彩に関しての理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用法も習得する ・色彩科学　・色彩心理　・色彩調和（配色） ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	2		○		○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習（社会人としてのマナーを身につける） ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客応対	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミーティング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修（美術展鑑賞など）　・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などをを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説　・用具の使い方 ・構図のとり方　・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			造形基礎演習	平面作品制作を中心にして様々な制作実習を通して、造形的基礎力を養成 ・画材とその用法の学習　・色彩構成（配色と構図）　・絵画的表現方法の研究	1前	60	2		○		○			○	○
合計				9科目	780単位時間（　26単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			デジタルイラスト	・ペイント系ＣＧソフトを活用した作品制作。 ・ペンタブレットを活用したペイント技術 ・キャラクターイラスト ・背景、エフェクト表現	1前	60	2		○		○			○	
○			Illustrator演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果　・パスを使ったオブジェクト描画　・印刷物のレイアウト技術	1前	60	2		○		○		○		
○			キャラクターデザイン	人体構造の基礎を学び、衣装デザイン、テーマからのキャラクター作りに取り組む。 ・衣装デザイン　・オリジナルキャラクター制作 ・三面図の制作	1前	60	2		○		○			○	
○			コンペ対策	様々なイラストコンペに応募するための、準備調査を学び、実際に応募する。 進級制作など学校行事に向けた企画制作。	1前後・2前	300	10		○		○		○		
○			CLIPSTUDIO演習	CLIPSTUDIO PAINTの基本操作を学ぶ。 ・塗りの基本　・マンガツール ・アニメーションツール　など	1前	60	2		○		○		○		
○			Live２D	Live2D Cubism の基本操作を学ぶ。 ・パーツ素材作り　・モデリング ・アニメーション　・SDK書き出しなど	1後	60	2		○		○		○		
○			Photoshop 演習	・Photoshop操作の基礎 ・画像合成やレタッチなどの演習 ・保存形式などの適切な処理 ・検定への対策	1後	60	2		○		○		○		
○			進級制作	卒業進級制作展に展示することを目標として、1年間の学習成果としての作品制作	1後	30	1		○		○		○		
○		○	アニメーション	各種アニメーション、動画制作ソフトを併用し、アニメーションコンペの応募を目指す。	2前後	120	4		○		○		○		
合計				9科目	960単位時間（　32単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科コミックイラストコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			卒業制作	卒業･進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2後	120	4		○		○		○		
○			３Ｄ基礎	3DCG制作ソフトの基本を学ぶ。3Dモデリングを通じて作品のクオリティ向上を目指す。	2前	60	2		○		○		○		
	○		グラフィックデザイン	主にDTPソフトを使用してその実戦的技術を学習する ・グラフィックデザイン(冊子誌面レイアウト) ・ロゴデザイン、リーフレットなど、デザイン業務を想定した課題制作。	2前後	120	4		○		○		○		
	○		マンガ制作	ストーリーマンガ制作を主軸としたマンガ執筆 ・プロットの作り方　・ネームの描き方 ・CGツールを利用した制作と仕上げ	2前後	240	8		○		○			○	
	○		マルチメディア演習	今まで学んだ様々なグラフィックツールを総合的に運用し、 ゲームコンテンツ、動画、web配信など様々なメディアに活用する。	2前後	120	4		○		○		○		
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・自己PR、志望動機作成 ・面接指導 ・個人カウンセリング	1後	30	1		○		○		○		
合計				6科目	630単位時間（　21単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

（別紙様式４）　　東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　デザイン学科　グラフィックデザインコース

【職業実践専門課程認定後の公表様式】

令和 7年 6月 1日

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
東日本デザイン＆コンピュータ専門学校	昭和61年3月10日	小林　一英	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1098-1 （電話）027-267-1171
設置者名	**設立認可年月日**	**代表者名**	**所在地**
学校法人山崎学園	昭和42年3月31日	遠山　巍	〒379-2184 群馬県前橋市小屋原町1145-1 （電話）027-267-7945

分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士
商業実務	商業実務専門課程	デザイン学科（グラフィックデザインコース）	平成17年文部科学大臣告示第177号	なし

学科の目的	本校は、学校教育法に基づき、教養教育と専門教育が調和した幅広い技術教育を行い、アート・デザイン分野及びCG・ゲーム分野に関する知識技術を習得させ、もって産業界並びに社会公共に貢献できる人材を育成することを目的とする。
認定年月日	平成26年3月31日

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2 年	昼間	1800時間		2160時間			
		単位時間					

生徒総定員	生徒実員	留学生数（生徒実員の内数）	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	35人（116人の内数）	0人	7人	10人	17人

学期制度	■前期: 4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日	成績評価	■成績表:　有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、実習の成果、出席状況等を総合的に勘案
長期休み	■学年始め:4月1日～4月5日 ■夏　季:7月26日～8月25日 ■冬　季:12月25日～1月8日 ■学 年 末:3月22日～3月31日	卒業・進級条件	校長が成績評価の基準に従い認定する。
学修支援等	■クラス担任制:　有 ■個別相談・指導等の対応 担任及び学生指導委員による対応	課外活動	■課外活動の種類 学生会組織、部愛好会、インターンシップ等 ■サークル活動:　有
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等（令和7年度卒業生） 共立印刷(株)、(株)太洋社印刷所、(株)平賀、(株)やましろや　他 広告・印刷会社、Web制作会社及び企業内Web担当 等 ■就職指導内容 担任および就職部による面接練習等 ■卒業者数　:　22　人 ■就職希望者数　:　19　人 ■就職者数　:　18　人 ■就職率　:　94.7　% ■卒業者に占める就職者の割合 :　81.8　% ■その他 （令和　6 年度卒業者に関する 令和7年5月1日 時点の情報）	主な学修成果（資格・検定等）※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 （令和6年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報）

資格・検定名	種別	受験者数	合格者数
Illustratorクリエイター能力認定試験	③	30人	15人
Photoshopクリエイター能力認定試験	③	33人	17人
色彩検定	③	73人	50人
POP広告クリエイター技能審査試験	③	22人	20人

※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。
①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの
②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの
③その他（民間検定等）

■自由記述欄

中途退学の現状	■中途退学者　6 名　■中退率　5.0 % 令和6年4月1日時点において、在学者121名（令和6年4月1日入学者を含む） 令和7年3月31日時点において、在学者115名（令和7年3月31日卒業者を含む） ■中途退学の主な理由 病気療養、進路変更　等 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任及び退学防止委員会による対応
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度　:　有 特待制度 ■専門実践教育訓練給付　:　無
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価　:　無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 （評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL）
当該学科のホームページURL	http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/

（留意事項）

2. 就職等の状況（※2）

3. 主な学修成果（※3）

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

（1）教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携に関する基本方針

本校の目的に応じて、情報通信業界の要請を十分に生かしつつ職業に必要な実践的かつ専門的な能力を育成するため、教育課程の編成において企業等が委員として参画する「教育課程編成委員会」を設置し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものとする。

（2）教育課程編成委員会等の位置付け

細則で「教育課程編成委員会」を学内に設置することを定め、学校組織図に明記し、位置づけを明確にいている。教育課程編成委員会は、意見を教務部に提出し、教務部において教育課程を編成し、校長及び理事会の承認をへて最終決定している。

（3）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和 7年4月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
小林　一英	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　校長	令和 7年4月1日　～ 令和 8年3月31日（1年）	
朝日　泰博	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　教務部長（デザイン学科）	〃	
石川　靖	群馬県印刷工業組合　理事長	〃	①
齋藤　徹	エイチレフ合同会社　代表社員	〃	③
平田　耕一郎	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校　学科長（デザイン学科）	〃	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）
②学会や学術機関等の有識者
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

（4）教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

（開催日時）
年間開催数：2回（毎年5月、11月）

（5）教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

「教育課程編成委員会」において各委員より出された意見を取り入れ、教務部において具体的な科目設定、授業内容の検討を行いカリキュラムを作成する。例えば、最先端のIoT技術について企業内で行われている取り組みをネットワークやプログラミングの授業に反映させている。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業等の要請を踏まえ、専攻分野に関わる職業において即戦力とし活躍でき人材育成目指す。

（2）実習・演習等における企業等との連携内容

専攻分野に関わる企業等において豊富な実務経験を有し、業界の動向に知見を有する講師を選任し、実習・演習等の内容及び学修成果の達成度評価について打ち合わせを行い担当教員と連携しながら授業運営を行う。

（3）具体的な連携の例

科　目　名	科　目　概　要	連　携　企　業　等
Web演習Ⅰ・Ⅱ	・Webサイト制作演習 ・Web、インターネットの活用法、知識習得	エイチレフ合同会社

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

細則ならびに研修規程に基づき、教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにしている。

（2）研修等の実績
①専攻分野における実務に関する研修等
全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての下記講習会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行った。
・令和6年11月27日(1日) ワコムクリエイターカレッジクラブ主催「ポートフォリオ強化大作戦！Folioの活用法とクリエイターとして生きる道」
・令和7年1月16日(1日) 株式会社クリーク･アンド･リバー社主催「デザインの基礎知識を深めるチャレンジ講座Vol.9 デザイン史【基礎編】」
②指導力の修得・向上のための研修等
全教職員を対象に、外部実務家講師による生徒に対する指導力等の修得・向上のための研修会
・令和7年3月18日（1日） 群馬県教育委員会スクールカウンセラー、前橋市保健センター心理相談員、臨床心理士、公認心理師 清宮理也子様 を招聘し、全教職員を対象に『青年期のカウンセリングの特徴 専門学校における1年間のケースを振り返って』について

（3）研修等の計画
①専攻分野における実務に関する研修等
全教職員を対象に、関連業界団体・企業が主催する実務に関する知識・技術・技能についての研修会等に参加し専攻分野毎に実務研修を行う。
②指導力の修得・向上のための研修等
全教職員を対象に、指導力の修得・向上を目指し各方面の有識者を講師として招聘し講習会を開催する。

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

（1）学校関係者評価の基本方針
教育効果の向上のため、企業等が開催する研修会等へ参加をし、知識、技術、技能などの修得に勤め、担当業務等の遂行に当たり質の高い授業運営ができるようにする。

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（1）教育理念・目標	理念・目的・育成人材像・学校の特色等
（2）学校運営	事業計画・人事や賃金での処遇に関する制度等
（3）教育活動	教育目標・育成人材像と業界ニーズ・資格取得体制等
（4）学修成果	就職率の向上・卒業生在校生の社会的活躍と評価等
（5）学生支援	就職指導に関する体制・課外活動に対する支援体制等
（6）教育環境	施設設備の整備状況等
（7）学生の受入れ募集	適正な学生募集活動・教育成果の適正な報告
（8）財務	中長期における財務基盤の安定・財務に関する適正な会計監査
（9）法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守と運営・個人情報の保護に関する対策
（10）社会貢献・地域貢献	
（11）国際交流	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）学校関係者評価結果の活用状況
「教員研修を充実し、教職員のモチベーション向上をさらに推進してほしい」との意見があり、教職員研修委員会において、教職員全員参加の集合研修や分野別に各教職員の実務研修の充実を図っている。

（4）学校関係者評価委員会の全委員の名簿
令和 7年4月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
小金澤 明日香	東日本デザイン＆コンピュータ専門学校（ビジネス2校）父母の会会長	令和 7年4月1日 ～ 令和 8年3月31日（1年）	PTA
前田 利雄	一般社団法人 群馬県情報サービス産業協会理事	〃	企業委員
廣田 毅文	有限会社 富士メディアサービス 代表取締役	〃	企業委員
根岸 誠	フジコー株式会社 代表取締役	〃	企業委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。
（例）企業等委員、PTA、卒業生等

（5）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期
（ホームページ ・ 広報誌等の刊行物） ・ 令和 4年7月末
URL:http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

社会に対する説明責任を果たし、社会全体からの信頼および企業等との連携や協力を得る。

（2）「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
（1）学校の概要、目標及び計画	校長名・所在地・連絡先等・特徴・沿革、教育目標・経営方針・教育指導計画・諸活動に関する計画
（2）各学科等の教育	入学者選抜の方針・方法、定員数・入学者数・在学者数・カリキュラム等進級・卒業の要件等、取得を目指す資格、合格を目指す資格等、・資格取得、検定試験合格等の実績、卒業者数、卒業後の進路
（3）教職員	教職員数、教職員の組織・専門性
（4）キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み状況、実習・実技への取り組み状況、就職支援への取り組み状況
（5）様々な教育活動・教育環境	学校行事への取り組み状況、課外活動（サークル活動、学生会活動）等の状況
（6）学生の生活支援	学生支援への取り組み状況
（7）学生納付金・修学支援	学生納付金の取扱、活用できる就学支援措置の内容
（8）学校の財務	事業報告書、貸借対照表、収支計算書、監査報告書など
（9）学校評価	自己評価・学校関係者評価の結果
（10）国際連携の状況	
（11）その他	

※（10）及び（11）については任意記載。

（3）情報提供方法

URL:http://www.yamasaki.ac.jp/design-com/14.html

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			色彩学	色彩に関しての理論や様々な知識を学習し、また実践的な活用法も習得する ・色彩科学　・色彩心理　・色彩調和（配色） ・色彩と生活(ファッション・インテリア)	1前後	60	2		○		○			○	
○			ビジネスマナー	・ビジネスマナーの基本学習（社会人としてのマナーを身につける） ・話し方・敬語の使い方 ・指示の受け方と報告・連絡・相談 ・電話対応、来客応対	1前後	60	2		○		○			○	
○			Word	・Microsoft Word基本操作 文字入力・文書作成・表作成 ・ビジネス文書のライティング技術 ・電子メールのライティング技術	1前・2前	60	2		○		○			○	
○			Excel	・Microsoft Excel基本操作 データ入力・関数・表の作成 ・グラフの作成 ・データベース	1後・2後	60	2		○		○			○	
		○	コースミーティング	LHR的な位置づけの授業科目 ・就職活動への準備と対策 自己分析・業種・職種研究 筆記及び面接試験対策 ・各種検定試験対策	1前後・2前後	120	4		○		○		○		
		○	校外研修・特活	普段校内で得られない幅広い専門知識や経験を得ることと並びに自立心、協調性などの育成を目的とする ・校外研修（美術展鑑賞など）　・スポーツ大会	1期間・2期間	60	2		○			○	○		
		○	学園祭	本校学園祭における催し企画立案から準備作業、学園祭当日の運営まで一連の作業を通して、自立心、協調性などの育成を目的とする	1期間・2期間	60	2		○		○		○		
○			デッサン	静物、人物などをを写生することを通して、立体としての物の見え方や空間認識を学びながら基礎的な造形感覚を養成 ・デッサン概説　・用具の使い方 ・構図のとり方　・空間のとらえ方	1前後・2前後	240	8		○		○			○	
○			造形基礎演習	平面構成を中心にして基礎造形力を養成 ・画材用具と混色方法　・配色と構図 ・対比（明暗、大小、距離）	1前後	120	4		○		○		○		
合計				9科目	840単位時間（　28単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			クリエイティブデザイン	・デザインの基礎技術や、表現技法を学ぶ ・適切な表現方法の選択 ・コンペへの応募 ・ポートフォリオ作成などへの対応	1前後・2前後	240	8		○		○		○		
○			Illustrator演習	Illustratorの基本操作からパス描画やグラフィックデザインの基礎技術を学習する ・ツールの使い方、効果　・パスを使ったオブジェクト描画 ・印刷物のレイアウト技術	1前	60	2		○		○		○		
○			Photoshop 演習	・Photoshop操作の基礎 ・画像合成やレタッチなどの演習 ・保存形式などの適切な処理 ・検定への対策	1後	60	2		○		○		○		
○			デジタルイラスト	・ペイント系ＣＧソフトの基本操作 ・ペンタブレットを活用したペイント技術 ・ＣＧイラストの表現技法、テクニック学習 ・キャラクターデザイン　・デジタルマンガ ・背景、エフェクト表現	1前	60	2		○		○			○	
○			ＰＯＰ広告デザイン	・POP広告の基本知識・技法について ・基本書体について ・レイアウトについて ・POP検定対策	1前	30	1		○		○		○		
○		○	コンペ対策	デザイン、美術に関連するコンペティションに応募、入賞を目指し作品を制作 ・各種コンペの傾向と対策	1前・2前	60	2		○		○		○		
○			フォトテクニック	・デジタル一眼レフカメラの知識、使用方 ・カメラ・撮影に関する基本的な知識、技術習得 ・写真のレタッチ・広告での使用法などの演習	1後	60	2		○		○		○		
○			ＤＴＰ基礎	・用語や印刷知識 ・サムネイル、ラフの制作 ・レイアウト作品演習	1後	60	2		○		○		○		
○			Web基礎	・XDによるデザインカンプ制作 ・HTML、CSSの理解 ・Dreamweaverの操作方法 ・ポートフォリオサイトの制作	1後	60	2		○		○			○	
合計				9科目	690単位時間（　23単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

授業科目等の概要

（商業実務専門課程デザイン学科グラフィックデザインコース）令和７年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			ＤＴＰ概論	・広告物製作工程、専門用語の理解 ・写真、製本、印刷工程の理解 ・紙媒体とデジタルメディアについて	1後	30	1		○		○		○		
		○	キャリアデザイン	主に就職活動を中心とした進路指導 ・自己PR、志望動機作成　・面接指導 ・就職試験の一般常識等筆記試験対策	1後	30	1		○		○		○		
○			ＤＴＰ演習	・Indesignの操作方法　・誌面構成の理解 ・製本基礎　・立案から制作までのワークフロー　・CI計画の演習	2前後	120	4		○		○		○		
○			Web演習	・Webサイト制作演習 ・Web、インターネットの活用法、知識習得	2前後	120	4		○		○			○	○
○			映像編集	After Effectsを使用しての映像編集の技術を学ぶ	2前後	120	4		○		○		○		
○			３ＤＣＧ演習	モデリングからテクスチャアマッピングまで ３ＤＣＧの基本概念と技術の学習	2前	60	2		○		○		○		
○			デザイン史	近代デザイン史を中心に19世紀後半から現在までのデザイン、建築、アートの動向について概観していく ・アーツ＆クラフツ運動からバウハウス ・モダニズムからポストモダン	2前	30	1		○		○		○		
○			VD・CI計画	・グラフィックデザインの概論 ・広告やWeb上で印象に残るビジュアル表現研究 ・ＣＩの概要から制作、提案	2後	60	2		○		○		○		
		○	卒業制作	卒業･進級制作展に展示することを目標として、2年間の集大成としての作品制作	2後	60	2		○		○		○		
合計				9科目	630単位時間（　21単位）										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件は、1800時間以上かつ60単位以上を満たすものとする。 また、必修選択科目は指定されている科目数を必ず履修する必要がある。	１学年の学期区分	2期
	１学期の授業期間	15週

（留意事項）

１　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。